

村ツーリズム開発プログラム 3年間の成果

ゆいツールでは、2016年度より3年間にわたりインドネシア・ロンボク島で「村ツーリズムの開発」を行ってきました。これは、村ツーリズムによって、村の自然や文化が守られることを目指したものです。そして、単にツアーを実施するのではなく、受け入れる村の若者を育成し、若者たちによるツアーの準備、村でのコーディネート、さらにそれらの成果を他の村の若者向けにプレゼンテーションして、経験のシェアリングも行いました。また、村のごみ問題について考える機会を何度も設けました。

若者たちと一緒にバリ島やロンボク島の観光地や村などを訪れ、村ツーリズムのヒントを学んだり、環境行政担当者を村に呼んでごみの管理について学んだりしました。村ツーリズムとは何か、村の人たちに知ってもらうためにパンフレットを製作したり、フォーラムを開催したりもしました。また、ゆいツールが村ツーリズムを行ってきた村を紹介するパンフレットを観光客向けに英語で製作しました。

ツアーに参加した日本の若者は、インドネシアのごみ問題を学んだほか、村での暮らしを体験したり、村の若者たちと交流して異なる宗教・異なる文化を肌で感じカルチャーショックを受けたりしました。そして、それぞれが感じたことをレポートにまとめたり、イベントで発表したりしました。

ゆいツールの活動は、根本には持続可能な社会形成につながるESD（持続可能な開発のための教育）の考え方があります。そのため実施する諸活動すべてに持続可能な開発を考える場が創出され、若者や関わる人の学びの場となっています。

＊本事業は、地球環境日本基金より助成を受けて実施しました。

1 村の若者たちの育成



1 ツーリストを迎えること
村のごみ問題の意識化(ワークショップ開催)



1 ツーリストを迎えること
村のごみ問題の意識化(ワークショップ開催)



2 ツアーの準備



3 ツーリスト(日本の若者)の受け入れ



4 ツーリストと一緒にごみ問題を考える



4 ツーリストと一緒にごみ問題を考える



5 村ツーリズムの成果を他の村で
プレゼンテーション



6 環境局スタッフのプレゼンと
ごみ問題の解決に向けたスタディツアー



6 環境局スタッフのプレゼンと
ごみ問題の解決に向けたスタディツアー



6 環境局スタッフのプレゼンと
ごみ問題の解決に向けたスタディツアー



7 他の場所の村ツーリズムを学ぶ



7 他の場所の村ツーリズムを学ぶ

2 日本の若者向けエコツアーの実施



1 エコツアー
2016年9月 2名



2 エコツアー
2016年12月 5名



2 エコツアー
2016年12月 5名



3 エコツアー
2017年12月 8名

2 日本の若者向けエコツアーの実施



3 エコツアー
2017年12月 8名



4 エコツアー
2018年2月 7名



4 エコツアー
2018年2月 7名



5 エコツアー
2019年3月 5名

3 村ツーリズム発展のためのフォーラムの開催



1 フォーラム
2018年2月8日 96名参加



1 フォーラム
2018年2月8日 96名参加



1 フォーラム
2018年2月8日 96名参加



1 フォーラム
2018年2月8日 96名参加

4 パネルとパンフレットの作成



1 村ツーリズム開発紹介パネル



2 村ツーリズム開発紹介パンフレット
(インドネシア語)



3 ランタン村のツアー紹介パンフレット(英語)

5 モニターツアー及び学生の受け入れ



1 2016年9月～10月
東京農工大学の学生1名



2 2018年6月 ブウン・スジャティ村
モニターツアー 在住日本人2名



3 2018年7～8月(16日間)
名古屋市立大学の大学生1名



4 2018年10月(4日間)
明治大学の学生1名



5 2018年11月(2日間)
東京農工大学の学生1名



6 2019年2月(9日間)
上智大学の学生1名



7 2019年2月(8日間)
上智大学の学生1名とその妹1名